

それでも、遺^{のこ}されたのは未来。

Festival
des FILMS
MONDE
第35回モントリオール世界映画祭
コンペティション部門正式出品作品
イノベーションアワード受賞

親友の命を奪った彼。
かけがえのない命を守れなかった彼女。
遺品整理という命と向き合う現場で
2人は出会った――

アントキノイノチ

岡田将生 榮倉奈々

松坂桃李 / 鶴見辰吾 檀^{れい} 染谷将太・柄本 明・堀部圭亮 吹越 満 津田寛治 宮崎美子 / 原田泰造

主題歌: Greeen「恋文〜ラブレター〜」(NAYUTAWAVE RECORDS)

原作: さだまさし(幻冬舎文庫) 監督: 瀬々敬久 企画プロデュース: 平野 隆 下田淳行 脚本: 田中幸子・瀬々敬久 音楽: 村松崇継

エグゼクティブプロデューサー: 田代秀樹 関根真吾 プロデューサー: 上田有史 辻本珠子 撮影: 鍋島淳裕 照明: 三重野聖一郎 美術: 磯見俊裕 録音: 白取 賢 編集: 菊池純一
VFXスーパーバイザー: 立石 勝 スクリプター: 中西桃子 助監督: 吉村達矢 制作担当: 山下秀治 共同プロデューサー: 幾野明子 協力プロデューサー: 石黒研三 ラインプロデューサー: 及川義幸

制作プロダクション: ツインズジャパン 配給: 松竹 ©2011「アントキノイノチ」製作委員会 www.antoki.jp

「余命1ヶ月の花嫁」のスタッフが贈る感動作 11.19(土)ロードショー

でも、
君に出会えた――。
この秋、
一番の感動作。

2009年に発売され、幅広い年齢層の感動を呼んだ「アントキノイノチ」(さだまさし著、幻冬舎文庫)。人間関係が希薄になった現代社会の中で生まれた「遺品整理業」という仕事を通して、もがき苦しみながらも成長する若者の姿を描き、発売当時大きな話題を集めた。本書が、『余命1ヶ月の花嫁』、『Life天国で君に逢えたら』などで、“命”と向き合い続けてきた制作チームにより、遂に映画化された。

主演を務めるのは、2010年『告白』『悪人』で日本アカデミー賞優秀助演男優賞に選ばれた岡田将生と、『余命1ヶ月の花嫁』での演技が高く評価された榮倉奈々。今、最も注目を集める2人が本作で初共演を果たした。また、ネプチューンの原田泰造が2人を見守る重要な役どころで出演するほか、松坂桃李や染谷将太などの注目の若手から、柄本明、檀れいといった実力派俳優が顔を揃え、スクリーンを彩っている。

監督は、昨年公開された『ヘヴンズ ストーリー』で、第61回ベルリン国際映画祭・国際批評家連盟賞とNETPAC賞(最優秀アジア映画賞)の2冠を獲得した瀬々敬久。主題歌は幅広い世代から圧倒的な支持を集めるGReeeeN。この作品のために「恋文〜ラブレター〜」を書きおろし、物語に一層の輝きと爽やかな余韻をもたらしている。

人は死ぬときはひとりだ。死はひとりで迎えるしかないのだけど、生きているときは誰かと繋がっていたい――。

「生きること」に絶望を感じた男女が、出逢い、ともに失われた命や、遺されたモノに触れることで、少しずつ生きる勇気を取り戻していく。

2人が過去に向き合い、一步未来に踏み出す姿は、深い感動と希望を与えるに違いない。



Story

高校時代に友人を“殺した”ことがきっかけで、心を閉ざしてしまった永島杏平。

3年後、父の紹介で遺品整理業の現場で働き始めた杏平は、久保田ゆきと出逢う。

命が失われた場所で共に過ごす中で、次第に心を通わせていく2人。

そんなある日、ゆきは衝撃的な過去を杏平に告げる。

そして、杏平の前から姿を消してしまう――。



第35回モントリオール世界映画祭
コンペティション部門正式出品作品
イノベーションアワード受賞

11月19日(土)ロードショー

前売鑑賞券発売中!! つながるハート「アントキメモ」付

一般券 1,300円(税込) ※1枚につき1個。 ※数量限定、なくなり次第終了。 ※一部劇場を除く。 ※前売特典は劇場窓口限定です。



powered by TSUTAYA